

火災は未然に防げる災害

ひとりひとりの心掛けが大切

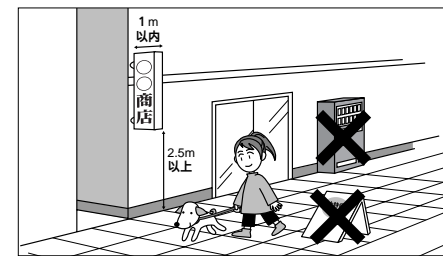


火災のほとんどは住宅火災

今年、市内で発生した火災件数は11月末現在で98件。これは昨年1年間の発生件数と比較するとすでに26件も多く、著しく増加しています。

本市のこれまでの火災発生件数は、最も多かった昭和40年の242件をピークに減少傾向をたどり、平成に入ってから1000件台が続き、平成10年には99件と2ケタ台を達成。昨年は72件と更に減少し、人口1万人当たりの火災件数を示す出火率が管内人口40万人以上の消防本部の中で、平成10・11年と2年連続して一番低い数値を記録したことで、全国的にも最も火災の少ない都市といわれるようになってきました。

今年火災の発生原因で最も多いのは放火(疑いも含む)で20件。次いでこの12件、たばこ11件、電灯・電話の配線10件となっており、放火を除くと取り扱われるべきでないものが全体の大半を占めています。



公共のスペースである道路を私的に使用することは、

看板調査にご協力ください

道路の占用には許可申請を

また、出火件数の増加に伴い死者の増加も増え、11月末現在で14人もの尊い命が失われており、そのうち60歳以上が8人となつています。死亡の原因のほとんどは逃げ遅れとみられています。

火災が発生すると、財産

だけでなく尊い人命も失いかねません。「安全都市にいがた」を目指すには、市民ひとりひとりの心掛けが大切です。

時節柄、各家庭で火を使用する機会が多くなり火災の危険が増大します。火の取り扱いには十分注意

し、万が一に備えた消火器の手入れや、降雪時には、消火栓の周囲の除雪にご協力ください。

家庭でできる火災予防

- ・ストーブに燃えやすいものを近づけない
- ・ストーブの火をつけたまま給油をしない

・こんろの周囲は整理し、こんろから離れるときは必ず火を消す

・寝たばこはしない

・こまめにコンセント、プラグのほこりを取る

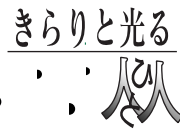
問い合わせ 消防局予防課 (223・3191)へ



山口浩二さん

今回は冬の新潟を彩る、けやき通りの「2000N IIGATA光のページェント」の実行委員長・山口浩二さんを紹介いたします。

「新潟の冬を少しでも明るく楽しいものになりたい。そして、何より子どもたちちに夢を与えたい。光のページェント」の実行委員長・山口浩二さんを紹介いたします。



光のページェント 実行委員長 山口浩二さん

たくさんの人の暖かい協力で運営

「ページェントにはそんな願いが込められているんです」と話す山口さんは、実行委員長として今年で3年目を迎えます。

「市民の皆さんの暖かい協力によって、このイベントが成り立っていることを知ってもらいたい」と話すように、光のページェントは、市民や企業などの協賛金で運営されています。

しかし、この不況の中、協賛金集めもひと苦労。最初は話さえ聞いてくれ



けやき通りの光のページェント

「市民の皆さんの暖かい協力によって、このイベントが成り立っていることを知ってもらいたい」と話すように、光のページェントは、市民や企業などの協賛金で運営されています。

しかし、この不況の中、協賛金集めもひと苦労。最初は話さえ聞いてくれ

「昔に比べると、駅南もにぎやかになり、様変わり

は大きなものですよ」と語ってくれました。

土地の利用状況などで税金は変わります

固定資産税

土地や家屋などに課税される固定資産税の額は、土地の利用状況や家屋の新・増築、滅失などにより異なります。特に住宅の敷地は、空き地や事業用などの敷地に比べて、税額が大幅に軽減されます。

平成12年中に土地の利用状況を変更したり、住宅用家屋を取り壊したときは、申告が必要ながあります。すのでお問い合わせください。また、住宅用以外の家屋を取り壊して、滅失登記をしていない場合もご連絡をお願いいたします。

併用住宅で居住部分とその他の部分との利用割合に変更があった場合に取得した資産

同期間に廃棄や売却処分などで減少した資産

市外へ移管した場合や、市外から移管してきた場合は、それぞれに含めて申告してください

前年度に申告しなかった人や初めての人も

平成13年1月1日現在で所有している全資産

申告期限 1月31日

申告期間 1月19日～1月31日

申し込み 1月21日午後2時～同30分

対象 幼児・小学生

折り紙タイム

日時 1月21日午後2時35分～3時35分

対象 幼児・小学生

なわとび初心者講習会

日時 1月27日午前10時半～正午

対象 小学生先着20人

固定資産税

償却資産申告書を発送 申告はお早めに

工場や事務所、店舗などで事業のために使用している償却資産(機械・器具・備品など)の所有者は、毎年申告が必要です。

前年度(平成12年度)に申告した人

平成12年1月2日から平成13年1月1日までに新

に取得した資産

同期間に廃棄や売却処分などで減少した資産

市外へ移管した場合や、市外から移管してきた場合は、それぞれに含めて申告してください

前年度に申告しなかった人や初めての人も

平成13年1月1日現在で所有している全資産

申告期限 1月31日

申告期間 1月19日～1月31日

申し込み 1月21日午後2時～同30分

対象 幼児・小学生

折り紙タイム

日時 1月21日午後2時35分～3時35分

対象 幼児・小学生

なわとび初心者講習会

日時 1月27日午前10時半～正午

対象 小学生先着20人

児童センター

申し込み は同センター(万代市民会館内 246-7711)へ、は当日直接同センターへ 月曜日、12月29日～1月3日は休館。幼児は保護者同伴

ジャンボカルタ大会

日時 1月6日午後1時半～3時

対象 小学生先着30人

工作教室「まんが講座」

日時 1月13日午後1時半～3時半

対象 小学生先着25人 参加費 150円

親子一輪車講習会1・2・3(初心者)

日時 1月14日午前10時15分～11時半

対象 小学1年～3年生先着15人と保護者おはなしの部屋(絵本の読み聞かせ)

日時 1月21日午後2時～同30分

対象 幼児・小学生

折り紙タイム

日時 1月21日午後2時35分～3時35分

対象 幼児・小学生

なわとび初心者講習会

日時 1月27日午前10時半～正午

対象 小学生先着20人

鳥屋野地区公民館

知って得する電気の講座

日時 1月12・19日午後1時～3時

内容 電気の基礎知識、製品の省エネ方法、上手なアイロンのかけ方、ほか

対象 成人先着20人

申し込み 同館(285-2371)へ

坂井輪地区公民館

冬休み学習室

日時 12月20日～1月10日午前9時～午後5時(12月23・24日、12月29日～1月3日、1月7・8日は休み)

対象 小学生以上

問い合わせ 同館(269-2043)へ

住まいの相談

日時 12月19日午前10時～午後3時

会場 建築国保会館(川岸町3)

内容 住宅の新・増・改築、ほか

問い合わせ 新潟地域住宅相談協議会(266-6650)へ

県民福祉協会

申し込み 同協会(282-2000)へ

文化教室

コース 生け花、ペン字、茶道、箏曲、着付け、書道 定員 各コース先着25人

奨学金貸し付け

対象 県内の全日制高校に進学を希望する人10人 貸付金額 月額15,000円

申込期限 1月31日

市立保育園臨時職員 保育士募集

雇用期間 平成13年1月4日～3月31日(8時間、5時間、3時間勤務)

募集人員 保育士の資格を持つ人10人

問い合わせ 児童福祉課(内線2611)へ

市役所周辺駐車場案内

市役所本館および分館の駐車場が混雑している場合は、白山公園または陸上競技場の駐車場を利用してください。

市役所の用務での利用は、市役所駐車場と同じ取り扱いとなります

12月末までに周辺駐車場の混雑が予想される日

期日	時間帯	期日	時間帯
12/17	午後・夜	12/21	夜
12/18	夜	12/23・24	午後
12/19・20	午後・夜	12/25・26・31	夜

県高齢者総合相談センター

相談電話番号 285-4165

お年寄りのよろず相談

日時 毎週月曜～金曜日午前9時～午後5時(土・日曜、祝日、12月28日～1月3日は除く)

専門相談(予約制)

相談内容	月日	時間
法律	12/18・25	午後1時半～4時
痴ほう	12/20	午後1時半～3時半

県立自然科学館

入館料 高校生以上510円、小・中学生310円(プラネタリウム鑑賞の場合、高校生以上710円、小・中学生410円)

問い合わせ 同館(283-3331)へ

月曜日、12月19日、12月28日～1月4日は休館

講演会「ウオッチングとやの潟の野鳥」

日時 12月23日午後1時～2時半

講師 小池重人(日本野鳥の会県支部研究部長)

プラネタリウムコンサート

日時 12月23・24日 午後1時半～2時15分 午後3時～同45分

県立青少年研修センター

会場 同センター(巻町)

申し込み 会場(0256-77-2111)へ

がんばるお父さんお母さん体験活動

日時 1月13・14日(1泊2日)

内容 たこ作り、もちつき、交流交歓会、ほか

参加費 3,500円

対象 成人先着40人(子どもの同伴可、子どもの参加費は3,000円)

集まれみんな仲良し

期日 1月27・28日(1泊2日)

内容 工作、もちつき、昔の遊び体験、ほか

対象 小学4年～6年生先着150人

参加費 3,700円